

臨床心理室

Psychological Support Service for Patients and Families



入院中の患者さんと ご家族の気持ちを支え見守る

さまざまな診療科・疾患で入院治療されている患者さんと、そのご家族を対象に心理的支援を行う。

業務内容の特徴と実績

臨床心理室は2014年4月に新設された。現在、臨床心理士3名が配置され、入院中の患者さんと患者さんを支えるご家族に心理的な支援を行っている(うち1名は精神科神経科専属)。

入院生活においては、検査や治療の開始、治療過程や退院にあたって、戸惑いや不安といったさまざまな思いが起こり、心理的な支援が必要になることがある。そこで臨床心理室では、ゆっくりと時間をかけて、患者さんやご家族の思いや考え、相談をうかがう。そして心理的な視点から、問題解決の方向性を一緒に考えていく。必要な時には精神科神経科とも連携を図っている。

初年度より、産科、新生児集中治療部、免疫・膠原病内科、小児科を中心に関わっており、現在その他の診療科や病棟にまで心理支援活動の場を拡げている。そして、他職種との連携を図るため、病棟スタッフや医療ソーシャルワーカーとのカンファレンスやミーティングへの参加も行っている。

小児科では、2013年2月に小児がん拠点病院として認定され、がんサポートチームとも連携し、入院中の患者さんとそのご家族への心理的な支援を行っている。



その他の取り組み

医療機関における自殺予防対策

医療安全管理室と共同し、医療機関における自殺予防のための取り組みを行っている。